

SHOW HEY シネマルーム

★★★★★

山の郵便配達

1999年・中国映画・93分

配給／東宝東和池

2001 (平成13) 年9月2日鑑賞

Data

監督：フォ・ジェンチイ

出演：トン・ルウジュン／リュウ・
イエ／ジャオ・シウリ

👁️👁️ みどころ

美しい中国映画。人間の素朴さ、自然の美しさに感動。忘れていた何か、を思い出させる作品。

— * — * — * — * — * — * — * — * — * — *

<まだ残る中国の素朴さ>

これは中国映画。1980年代初め、中国湖南省の山間部で、集落から集落へ手紙を届ける郵便配達員の物語である。

当時の郵便配達員は、郵便物をいっぱい入れた重たいリュックを背負って、険しい山の道を歩いて配っていくものだった。長年、このつらい仕事を続けてきた父親は、足が悪くなり、遂に、この仕事を息子に譲ろうと決心する。そして、最後の2泊3日の配達を、息子と、これも長年一緒だった「次男坊」という名前の愛犬とともに出発する。息子は大人になるまで、留守がちの父親と接することは少なく、距離を感じ、恐がってさえたが、3日間この父と一緒に山道を歩き、また各集落で温かく迎えられる父親の姿を客観的に見る中で、しだいに父への尊敬の念を強めていく。息子は寡黙な父親を支えながら自分を育ててくれた、母親の姿を、ある集落で出会った美しい娘に見いだす。また、父親の背丈を超えた息子が、父親を背中におぶって、橋のない川を渡って歩く中、父親は大きくなった息子のことを身体に感じ、ついに涙ぐむことも

何百回と繰り返された2泊3日の郵便配達は、父親にとっては今日が最後だが、息子に

とってはこれがスタートである。その1回の旅で、息子は、父親の人間としての大きさや立派さを確認するとともに、その父親が長年やってきた、つらい山の郵便配達という仕事への誇りを、自分のものとして引き継ぐことを決心する。

そして1日休んだ翌日、息子は、今度は一人で「次男坊」を連れて、再び山の郵便配達へ出かけて行く。



「山の郵便配達」
写真協力：東宝東和 ビデオ&DVD販売中

<日本人が失ったもの・・・>

1時間33分の短い作品だが、山の郵便配達という仕事を軸として、父親と息子、父親と母親、母親と息子の気持ちの動きを追う中で、貧しい山のまちの中で、ひっそりと、黙々と生きる中国人たちの素朴さ、そして、自然の美しさと厳しさに、ただ、ただ率直に感動することうけあいである。

唯一の華やかなシーンは、ある村での婚礼の日の美しい少数民族の娘との出会いだ。キラキラした目で見つめ、大きな声で笑い転げるその娘の魅力は、今の日本では絶対お目にかかることのできないものだと思う。また、ゆっくりと回るカメラに写る、中国湖南省の山々の景色の美しさもそうだ。

改革・開放政策が進む中、中国でもこの映画に描かれたような、素朴な美しい人間関係や景色は、次第に失われていくだろう。だからこそ、心の中に、永遠に残しておきたいと思う、美しい作品である。

2001（平成13）年9月4日記

山の郵便配達



原題：那山、那人、那狗
出演：騰汝駿、劉輝
監督：霍建起
製作年：1999年
DVD販売元：東宝
東和
発売年：2002年
時間：93分

1980年代初め、中国・湖南省の山間部で、集落から集落へ手紙を届ける郵便配達の物語である。

当時の郵便配達は、郵便物を入れた重たいリュックを背負って、険しい山道を歩き配っていくものだった。長年、この辛い仕事を続けてきた父親(騰汝駿)は、足が悪くなり、遂に仕事を息子(劉輝)に譲ろうと決心する。そして最後の2泊目の配達を、息子とこれいふ名の愛犬と共に担当する。

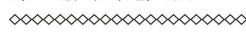
息子は大人になっても、留守がらの父と接することは少なく、距離を感じ、恐がってさえいたが、父親と一緒に山道を歩き、各集落で通訳を受けられる父親の姿を見ながら、しだいに

素朴な人々と美しい風景が心にしみる作品

父への尊敬の念を強めていく。息子は素直に父親を支えながら自分を育ててくれた母の姿を、ある集落に出会った美しい娘に見いだす。また、息子に背負われ山を登ると、父は大きくなった息子のことを身体に感じ、ついに涙ぐむことも。短い作品だが、山の郵便配達という仕事を軸として、父と息子、父と母、母と息子の関係の動きを描き、貧しい山のまちの中で、黙々と生きる中国人たちの素朴さ、そして自然の美しさを際立たせ、ただ、ただ素直に感動する。

唯一の華やかなところは、ある村での婚礼の日の美しい少数民族の娘の出会った。キラキラした目で笑う、大きな声で笑い駆け回る娘の魅力は、今の日本では見ることができないものだと思う。また、ゆっくりと回るカメラに写る、山々の景色の美しさもまた。

改革・開放政策が進む中、中国でも映画に描かれたような素朴な人間関係を真意は、次第に失われていくだろう。だからこそ承けたいと感じたいと思う、美しい作品である。



熱血弁護士 坂和章平 中国映画を語る(4)



国影映大観(2004年)「エニラのオウチヤン弁護士 映画を断る」シリーズをはじめ映画山陽の著書多数。NPO大阪府日本友好協会会員。

(さかひ・しちろう)
1949年1月、愛媛県松山市生まれ、大阪大学法学部卒。都市開発に関する訴訟を多く手がけ、日本都市計画学会「石川賞」、同年に日本不動産学会「著書著作賞」を受賞。平和的の中